

佐藤觀次郎 さとう けんじちろう 評論家、政治家。明治二十四年八月十九日愛知縣生乳、昭和四十五年二月二日没（一九二一七〇）。別名坂井哲三。昭和二年早稲田大學卒。九年雜誌『中央公論』編輯長、十二年「生きくおる兵隊」事件で休職、のち二度應召。戦後日本社會黨に入り、二十一年衆議院議員（普通選八回）。

著書『自動車部隊』（昭和十五年九月、千白高山書院）、『祖國のたのしみ』（合著、昭和十六年十一月五日、三省堂縮刷）、『陸軍幼年學校』（文化奉公會編、昭和十九年七月、千白大阪・増進堂）『陸軍教育叢書』、『大壇文人の帖』、『編集長の手記』（昭和二十七年十月、千白雪風書院）、『編集長の回想』（昭和二十二年十一月、千四百東京書房）、『代議士編集長』（昭和二十七年二月、千白雪華社）、『新しき世界の窓』（昭和四十一年十一月一日、千白経済往来社）等。

